

☆最初のISS構成要素打上げから3077日経過しました
☆第15次長期滞在クルーのISS滞在は14日経過しました
☆ISS動向

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン両宇宙飛行士と、史上5人目の宇宙旅行者であるチャールズ・シモニー氏を乗せたソユーズTMA-9宇宙船(13S)が、バイコヌール時間2007年4月21日午後6時31分(日本時間2007年4月21日午後9時31分)に、カザフスタン共和国に無事着陸しました。第14次長期滞在クルーの宇宙滞在期間は約215日となり、ロペズ-アレグリア宇宙飛行士は米国人宇宙飛行士の宇宙滞在記録を塗り替えました(以前の記録は第4次長期滞在クルーのダニエル・バーシュ、カール・ウォルツ両宇宙飛行士による約196日間)。また、JAXAのタンパク質結晶生成実験装置もともに帰還しました。

第14次長期滞在クルーが帰還した国際宇宙ステーション(ISS)では、4月10日にISSに到着したフョードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士、および引き続き滞在するスニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士の3名が、第15次長期滞在クルーとしての活動を開始しました。

●国際宇宙ステーションのクルー交代/ソユーズ宇宙船交換ミッション(14S)

<http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/14s/> (JAXA: 日本語)



第14次から第15次長期滞在クルーへの指揮権移譲セレモニー(4月18日)での1コマ。左からチューリン、ユールチキン、ロペズ-アレグリア、コトフ、ウィリアムズ宇宙飛行士(提供: NASA)



着陸直後のクルー(左からシモニー氏、チューリン、ロペズ-アレグリア両宇宙飛行士)(提供: NASA)

“「きぼう」打上げミッション(1J/A、1Jミッション)の打上げ日程”

米国時間2月26日に発生した雹(ひょう)によりスペースシャトル・アトランティス号(STS-117)や外部燃料タンク(ET)が損傷し、打上げが延期されたことを受け、ISS計画に参加している各宇宙機関は、各構成要素の組立てスケジュールに関する調整を行いました。その結果、「きぼう」日本実験棟の打上げミッションを含む今後約1年間のスペースシャトル打上げ日程とオービタが、以下の通り決定しました。「きぼう」打上げミッションについては、「きぼう」サイト(<http://kibo.jaxa.jp/>)もご覧ください。

土井宇宙飛行士
搭乗



「きぼう」船内保管室
打上げ

星出宇宙飛行士
搭乗



「きぼう」船内実験室/
ロボットアーム打上げ

ミッション名	STS-117 (13A)	STS-118 (13A.1)	STS-120 (10A)	STS-122 (1E)	STS-123 (1J/A)	STS-124 (1J)
オービタ	アトランティス号	エンデバー号	ディスカバリー号	アトランティス号	エンデバー号	ディスカバリー号
打上げ目標 (米国時間)	2007/6/8以降	2007/8/9以降	2007/10/20以降	2007/12/6以降	2008/2/14以降	2008/4/24以降

“インフォメーション”

☆筑波宇宙センター特別公開開催

4月21日(土)、筑波宇宙センター特別公開が開催され、過去最高の9,970名のみなさまにご来場いただきました。星出宇宙飛行士による講演会(米国と中継)や「きぼう」日本実験棟の説明、宇宙実験ショー、日頃なかなか目にすることのできない様々な施設など、宇宙開発の最前線を感じていただけたのではないかと思います。次回特別公開は10月下旬の予定です。



星出宇宙飛行士の講演会



宇宙服やISS模型の展示



宇宙実験ショー



宇宙服と記念撮影

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。